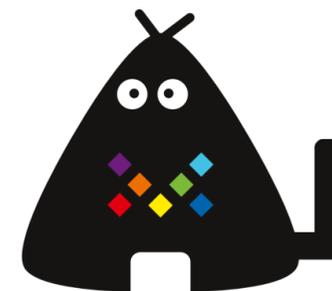


saveMLAKが実施した COVID-19の影響による 図書館動向調査の分析

第47回研究集会

2021/02/21 17:20~17:50

千葉支部 子安伸枝



saveMLAK

この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分をCC-BYで公表します

自己紹介とお断り

- 千葉支部所属、現在は文書館行政資料室勤務
- 発表内容は所属とは一切関係ございません
- 動向調査の参加者ではありますが、あくまで一参加者であり、saveMLAKを代表するものではなく、発表内容は個人の考えです



章立て

- 1 saveMLAKについて
- 2 背景の整理・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とは
- 3 類似事例・先行事例
- 4 COVID-19の影響による図書館の動向調査
- 5 調査結果から
- 6 まとめと課題

1 saveMLAKについて



- 2011年の東日本大震災を機に発足した**プロジェクト**
- **誰でも参加可能**
- 災害で被災したMLAK(美術館・博物館, 図書館, 公文書館, 公民館)の情報を集約し, ウェブサイトでの公開を行っている
- 地震だけでなく、水害、感染症対策等も守備範囲
- 普段はメディアWikiに各MLAK機関の取組を「記述」するスタイルの情報共有
- 詳しくはWebで <https://savemlak.jp/>

2 背景の整理・新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)とは



- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された感染症
- 2020年3月11日にパンデミックと表明
- 2021年1月29日現在、感染者数は世界で101,452,470例、死者2,191,027例、194カ国・地域に拡大
- 日本では2020年1月に初めて患者が確認された。
- 2021年2月10日現在、日本でのCOVID-19の感染者は408,186例、死亡者は6,557名



3 類似事例・先行事例

3-1 SARSの時はどう対応していたのか？

- SARSは2002年から2003年にかけて流行した
- 日本での流行はなかった
- 海外では図書館が休館になるケースも
- ウェブサイトでのSARS情報の発信
- 台湾、中国では電子書籍などの電子リソースを活用



3 類似事例・先行事例

3-2 COVID-19への他国の対応

- 資料の隔離
- 距離の確保のための制限
- 遠隔サービスの充実
- 館内のイベントをオンラインで

例) 米国議会図書館: 「バーチャル・トランスクリバソン」をオンラインで開催

- その他

Wi-Fiの無償開放やウェビナーの開催、オンラインでの求職者支援などが実施された。



3 類似事例・先行事例

3-3 COVID-19関連の類似調査について

- 3-3-1 株式会社カーリルによる全国調査
2020年4月7日時点、全国約1400館を調査。
saveMLAK調査の基礎に。
- 3-3-2 国立国会図書館による「新型コロナウイルス感染症による都道府県立図書館・政令指定都市立図書館・国立国会図書館への影響」
2020年2月28日～6月8日まで11回にわたって調査。



3 類似事例・先行事例

3-3 COVID-19関連の類似調査について

- 3-3-3 国立大学図書館の開閉館調査

国立大学86館を網羅的・継続的に調査

- 3-3-4 専門図書館の動向調査

7月から4回にわたって一般公開されている専門図書館を調査。

- 3-3-5 各都道府県立図書館による県域の図書館等の状況調査

域内の図書館等を網羅しているが、都道府県によって頻度はまちまち。

4 saveMLAKが実施した COVID-19の影響による図 書館の動向調査

ここから本題です



この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分
をCC-BYで公表します

4-1 調査の概要



- **きっかけ**

(株)カーリルによる全国の図書館の休館調査
4月12日の緊急ミーティングを経て、COVID-19の図書館動向
調査をカーリルから引き継ぎ実施していくことに
今の図書館の状況をスナップショットとしてとりたい・残したい

- **実績**

2020年4月16日から、2021年2月7日までに**15回**の調査を実施
量的・統計的調査(テーブル志向)、結果はCC0で公開
各回の調査詳細はプレスリリースを参照のこと
<https://bit.ly/3nOJ67s>

4-1 調査の概要 つづき



• 調査方法

全国の自治体の図書館・読書施設等の**中央館**の動向を調査
ウェブサイトの情報を「目視」

休館は、開架エリアへの利用者の進入を許可しているかどうか
調査主体は「**有志**」

Googleスプレッドシートで調査結果を集約

エビデンスとしてウェブサイトを**WaybackMachine**

や**Archive Today**に保存

情報共有は**slack&Zoom**、**完全オンライン**で実施

4-2 調査参加者と調査日程



回	調査日程	日数	時間	参加人数	対象館数	網羅率
1	4月8日・9日	2	24	—	1,409	80%
2	4月15日・16日	2	34	39人	1,549	87%
3	4月22日・23日	2	33	31人	1,626	92%
4	5月5日・6日	2	31	38人	1,692	96%
5	5月15日・16日	2	37	38人	1,696	96%
6	5月20日・21日	2	36	31人	1,708	96%
7	6月4日～6日	3	57	28人	1,715	97%
8	6月18日～20日	3	62	26人	1,718	97%
9	7月29日～8月1日	4	81	24人	1,718	97%
10	8月27日～8月29日	3	52	17人	1,721	97%
11	10月1日～10月4日	4	108	16人	1,721	97%
12	11月21日～11月24日	4	83	13人	1,722	97%
13	12月18日～12月19日	2	35	8人	525	30%
14	1月9日～1月11日	3	56	15人	1,723	97%
15	2月5日～2月7日	3	56	16人	1,726	97%
	合計	41	785	340人	23,969	

この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分をCC BY-NCとして公開いたします。

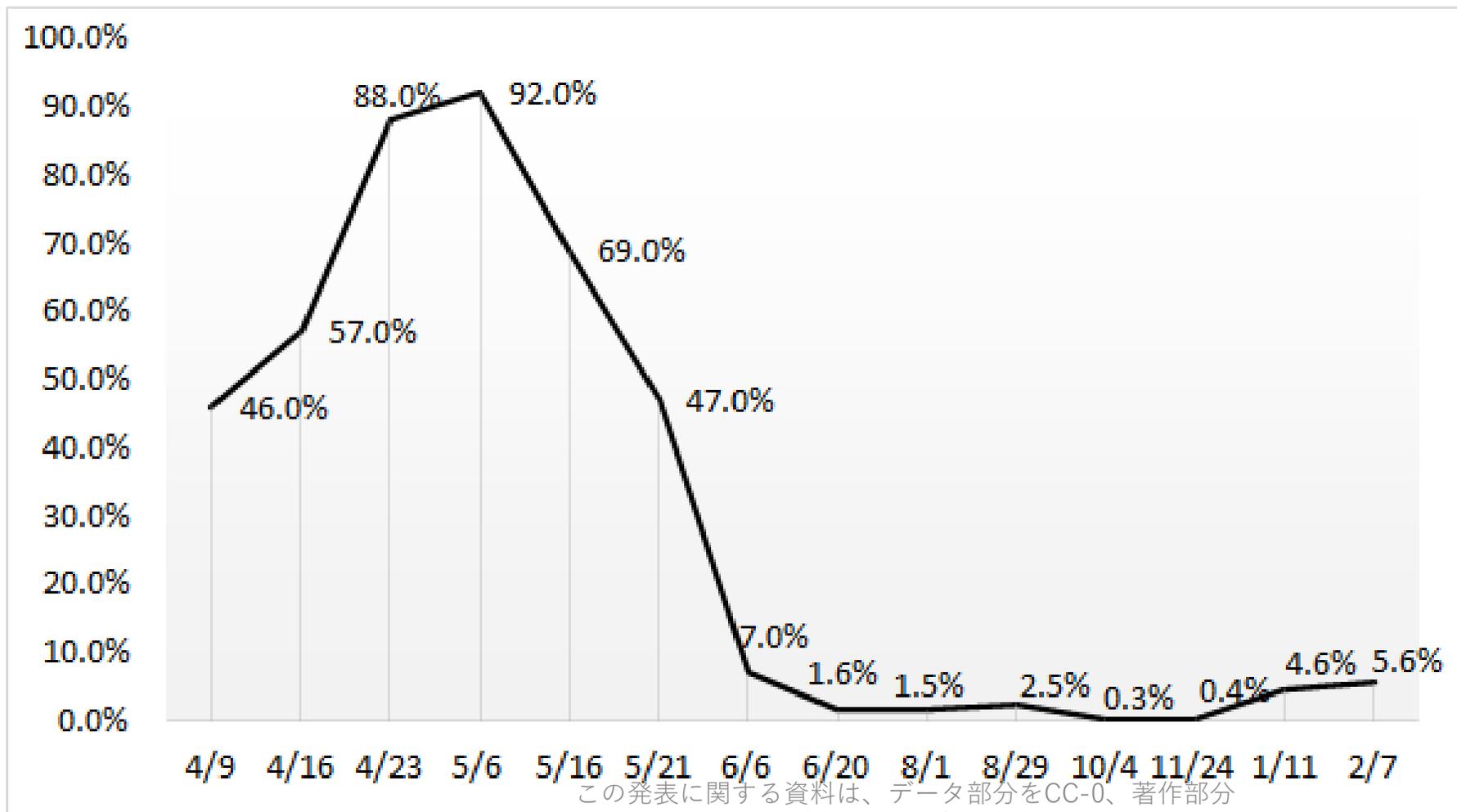
4-3 調査項目



- 休館開始日
- 休館終了日
- ウェブサイト
- 蔵書検索
- 入館記録(第10回からサービスと別に集計)
- 開館状況(第10回から休館開始日・終了日と別に集計)
- 継続するサービス(第9回まで、入館記録も当初ここに集計)
- 休館理由(第10回から追加)

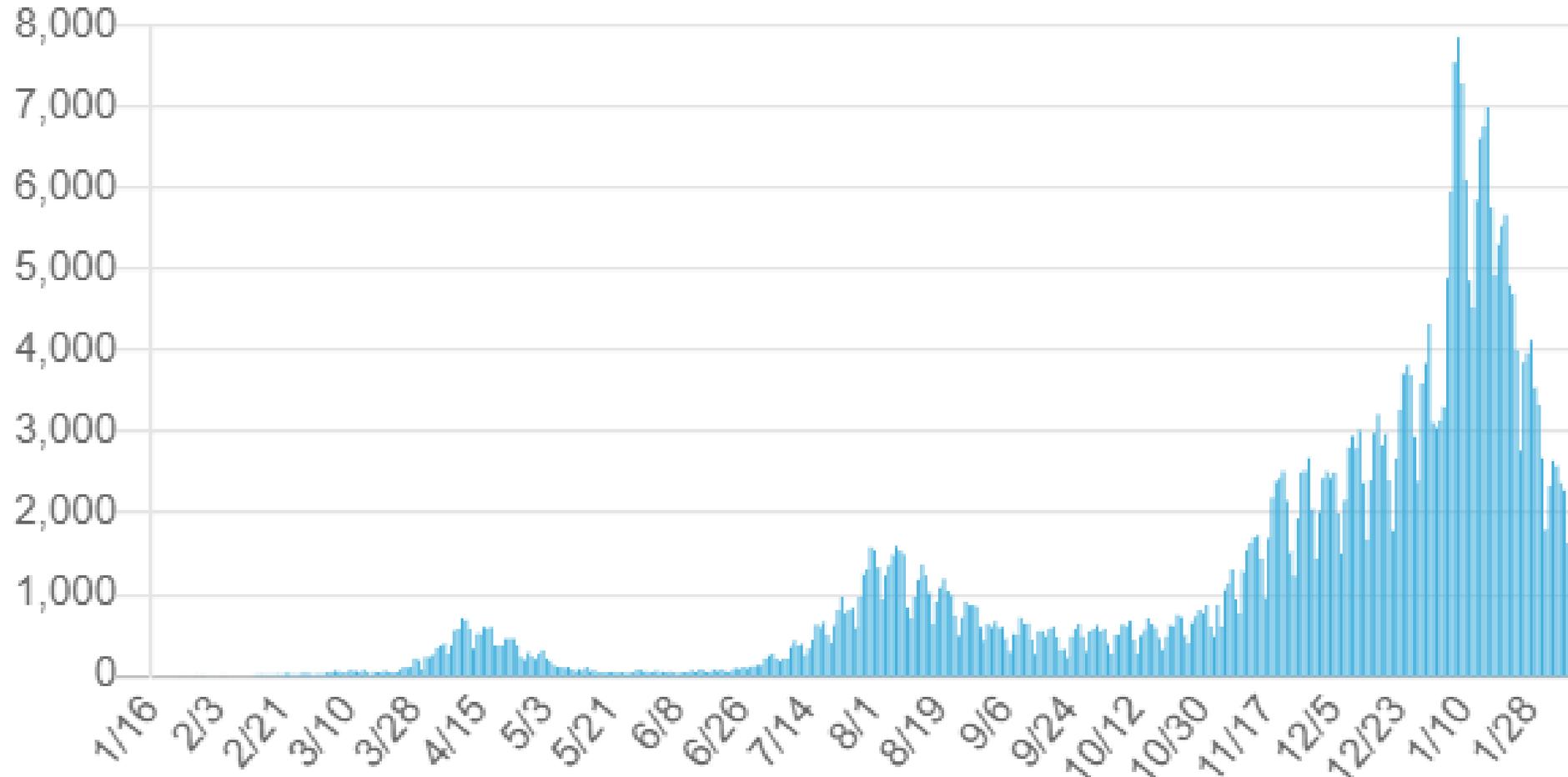
5 調査結果から

5-1 休館率の推移



この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分をCC-BYで公表します

(参考)陽性者数(厚生労働省ウェブサイト、「国内の発生状況など」より)
<https://web.archive.org/web/20210211132219/https://.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>



この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分をCC-BYで公表します

5 調査結果から

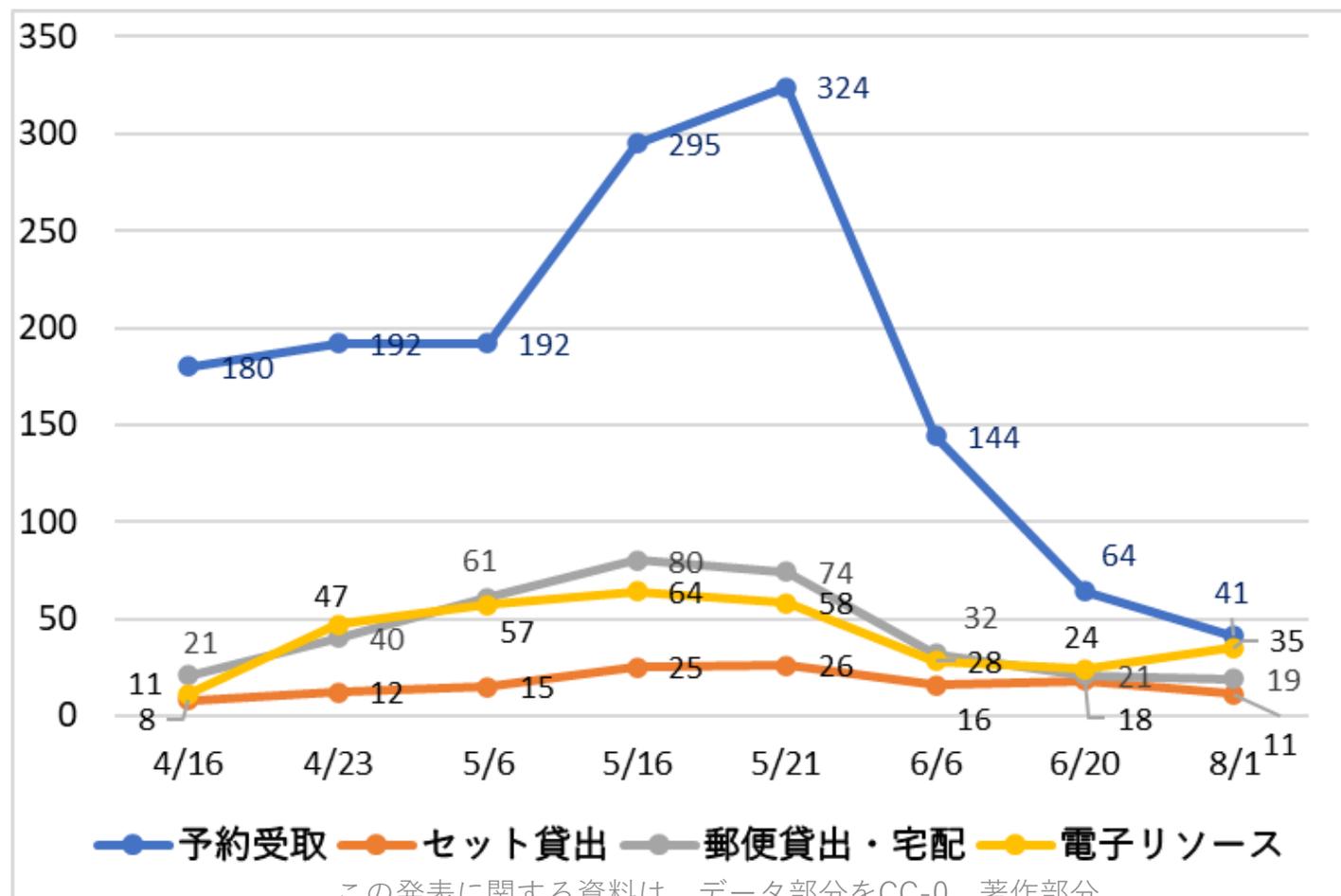
5-2 措置調査



- 動向調査と並行して、緊急事態宣言の措置として休業要請や時間短縮の対象に図書館が含まれているかどうかを調査した。
- 4月23日の調査時点で、休業要請を出している34都道府県のうち、29都道府県が図書館を休業要請の対象→**ほぼ休館**
- 2021年1月の緊急事態宣言時は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県は図書館を措置対象外としつつ**別途20時までの時短要請**
- 緊急事態宣言は3月7日まで延長、緊急事態宣言が発出されている都府県の図書館を含む集会施設には時短要請が出されている
- 沖縄県が独自の緊急事態宣言を出し、時間短縮を要請

5 調査結果から

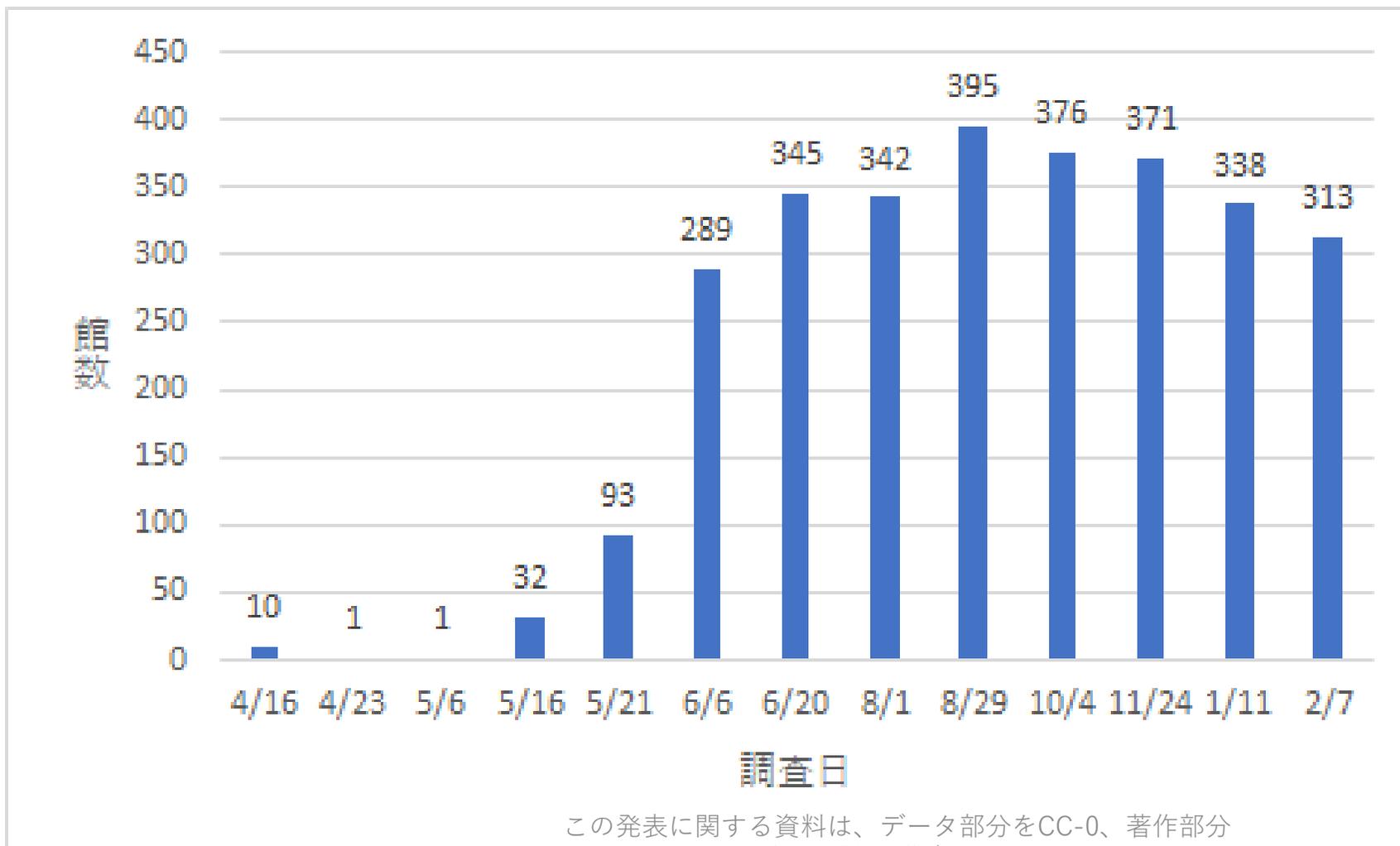
5-3-1 サービスの推移



この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分をCC-BYで公表します

5 調査結果から

5-3-2 入館記録



この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分をCC-BYで公表します

6 調査の課題



- わかるのは「傾向」であって、完璧なものではない
- 図書館等が存在するのか把握できていない自治体もある
- ウェブサイトにすべては書かれていない
 - 図書館の情報発信の課題
- 数が少なくてもよい取り組み
 - ベストプラクティス共有やプレスリリースを参照
- 調査は長期化、参加者は減少傾向

まとめ



- 動向調査は、全国の公立図書館等を対象とした**網羅的・継続的**な調査となった
- 「**その時点のスナップショットを撮る**」という目的を果たした
- **新聞報道**にも活用
- この調査によってCOVID-19流行下の**図書館の変化を時系列**で見ることがもできる
- 保存されたアーカイブを確認すると、さらに面白い分析ができるかも
- 図書館はウェブサイトやSNSをもっと活用してもいいのでは？

みなさまにお願い



saveMLAKの活動に ぜひご参加を！

次回調査は3月5日～7日です。

この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分
をCC-BYで公表します

感謝



saveMLAKの活動に参加し、
プロジェクトを続けて来て
くださった皆様、
ありがとうございます。

ご清聴ありがとうございました。



この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分をCC-BYで公表します

saveMLAKが実施した COVID-19の影響による 図書館動向調査の分析

第47回研究集会

2021/02/21 17:10~18:00

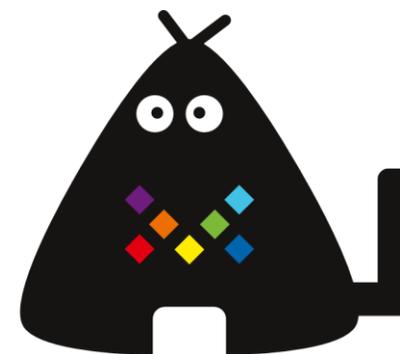
千葉支部・千葉県文書館 子安伸枝



この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分
をCC-BYで公表します

質疑

お手柔らかにお願いします



saveMLAK

この発表に関する資料は、データ部分をCC-0、著作部分をCC-BYで公表します